黙想:聖ミカエル、 聖ガブリエル、聖ラ ファエル大天使(9月 29日)

黙想のテーマ:「聖ミカエル、神の力」「聖ガブリエルのメッセージ」「聖ラファエル、明朗な若者」

聖ミカエル、神の力

聖ガブリエルのメッセージ

聖ラファエル、明朗な若者

大天使聖ミカエルは、旧約聖書で、 神から遣わされて選民を敵から守っ たものとして紹介されています。黙 示録は悪の力に対して続けた戦いに 関して語っています。「天で戦いが 起こった。ミカエルとその使いたち が、竜に戦いを挑んだのである。竜 とその使いたちも応戦したが、勝て なかった。そして、もはや天には彼 らの居場所がなくなった| (黙示録 12・7-8)。キリストは悪魔に勝利し ました。そしてこの大天使は悪魔を 打ち負かします。大聖グレゴリオが 述べています。「ミカエルとは、 『だれが、神のようなものか』とい

打ち負かします。大聖クレコリオが ボベています。「ミカエルとは、 『だれが、神のようなものか』で、 う意味であり、(…) それで、われらいるとが行送られている。 な力を現わすようもミカエルが送待ない。 を現わすいる。それは、その行いたというるといわら、神の行いことを理解に、 はだれも行い得ないことを理解に、 されためである」であるとは、それにが ある使命を委ねることに、 だけにできることだ、ということで す。「聖ミカエルは勝利します。彼 のうちで神が働くのですから | [2]。

聖ホセマリアは、自身の子たちに 言っていました。「あなたがたの誰 も一人ぼっちではありません。ばら ばらの一行詩ではなく、同じ詩、神 的な叙事詩の一行なのですしょ。全 てのキリスト信者はキリストの神秘 体・教会に属しています。今日は特 に心を込めて、天軍の総帥であるこ の大天使に、全ての人を見守り、戦 う私たちを助け、悪魔の悪だくみか ら逃れさせてくれるよう頼みましょ う国。勝利を確信して願うことで す。「昼も夜も我々の神の御前で 我々の兄弟たちを告発する者が、投 げ落とされたからである| (黙示録 12·10)。聖ミカエルとの関わりを強 めることは、神の力に対する信仰を 深め、私たちをより謙遜にし、神ご 自身との一致を次第に深めるでしょ う。「わたしの骨はことごとく叫び ます。『主よ、あなたに並ぶものはありません』 | (詩編35·10)。

教会のカテキズムは、「天使は全存 在をあげて神に仕える者、神の使者 です」ほと言っています。彼らは仕 えることだけに専念します。主のご 計画に喜んで協力し、それを人々に 伝えるためにいるのです。また、あ らゆる使者のうちに、ガブリエルの ようなものはいません。その名前は 「神の力」を意味し、主の使者とし て、いろいろな機会に主の贖いの計 画を伝え、その実現に協力する人を 招くため、送られました。例えばこ の天使はザカリアに言います。「わ たしはガブリエル、神の前に立つ 者。あなたに話しかけて、この喜ば しい知らせを伝えるために遣わされ たのである」(ルカ1・19)。また預言 者ダニエルもこの大天使について書

いています。「先の幻で見た者、すなわちガブリエルが飛んで来て近づき、わたしに触れた。それは夕べの献げ物のころであった。彼は、わたしに理解させようとしてこう言った。『ダニエルよ、お前を目覚めさせるために来た』」(ダニエル9・21-22)。

聖ルカは、大天使の挨拶に驚く聖マ リアのことにふれ、天使が答えたこ とを記しています。「マリア、恐れ ることはない。あなたは神から恵み をいただいた | (ルカ1・30)。ガブリ エルは、さまざまな状況に、落ち着 いて、希望をもって対処するために 必要な慰めを、神から獲得してくれ ます。また、お告げの時のように、 私たちの能力を超えるように思える ことを知らさせるときも、彼は「神 にできないことは何一つない| (ルカ 1・37)ことを思い出させてくれま す。常に私たちの内的戦いの大切な 支え手なのです。聖ホセマリアが書

いています。「まるで世界全体があ なたの上にのしかかってくるよう だ。辺りを見まわしても出口のかげ さえ見えない。今度こそ駄目だ、こ の困難を乗り越えることは…。神は あなたの御父であることをまたもや 忘れたのか。全能にして、無限の 知、あわれみ深い父であることを。 主があなたに悪いことなどお送りに なるはずがない。あなたを悩ますそ のことは、あなたのためになるの だ、今、(肉眼では)、それは分から ないだろうけれども… | 「61。大天使 ガブリエルは、神のみ旨を知らせ、 それだけが私たちに喜びと平和をも たらすことを理解できるように助け てくれます。

トビト夫婦は、若い息子を、危険に満ちている道中を遠い街まで一人で行かせることを気遣い、離れたとこ

ろから同伴するだけでは不充分だと 思っていました。そんな時、「どの 街道も良く知っています|(トビト5・ 6)と言って、息子に同伴する心づも りのある明るい若者が現れたのです (トビト5・10参照)。大天使聖ラファ エルです。彼は若者トビアの道連れ になり、様々な事柄から学ぶことを 教え(トビト6・1-9参照)、サラとの結 婚をためらう彼を恐れないように励 まし(トビト6・16-18参照)、彼女を妻 に迎え愛するように諭し(トビト6・ 19参照)、こうして、彼の両親の喜び になるよう助けました(トビト11・ 9-15参照)。

トビアと共に務めを果たしたことから、聖ホセマリアは、オプス・デイの使徒職の〈瞳〉として大事にしていた若者との使徒職を、大天使聖ラファエルに委ねることにしました。若者のキリスト教的な形成は、教会とオプス・デイにおいて優先させるべきことです。次の世代も、私たち

に平和をもたらしたものと同じものと切望するはずですから。全てろいますですから。全ろにしてのです。としてのをあるをしてのをしてのでは、ないでは、私たちは、ないではないで、は、ではいる人生においる人間の様々な生活からないで、キリスト教的な酵母となった。と、アリッのです。

「様々な試練のある人生途上で私たちは一人きりではありません。神の天使たちが同伴して支えてくれてするのです。言うなれば、彼らの艱難を乗り越え、つ艱難を乗り越え、つ現を重苦したりする場合とに引き寄せたりするよう。三大天使は、くの最期まで私たちに同伴して、そこ、天国でしょう。そして、そこ、天国で

天使の女王であられる聖母を見つめることができるのです。

- [1] 大聖グレゴリオ、 熊谷賢二訳 『福音書講話』、創文社、1995年、 212頁。
- [2] フランシスコ、一般謁見演説、 2013年7月5日。
- [3] 聖ホセマリア、説教、1961年3月 12日。
- [4] 大天使聖ミカエルに対する祈り 参照。
- <u>[5]</u> 「カトリック教会のカテキズ ム」329番。
- [6] 聖ホセマリア『十字架の道行』 第9留、黙想のしおり4。

[7] フエルナンド・オカリス、司牧 書簡、2018年6月8日。

[8] フランシスコ、一般謁見演説、 2013年7月5日。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-san-dai-tenshi/ (2025/12/12)